【メガバンクと米系大手の合弁証券】M&Aアドバイザリー業務の専門職を募集しています。

メガバンクと米系投資銀行の合弁証券のM&A専門職

Job Information

Recruiter
GLOBAL RESEARCH INC.

Hiring Company
メガバンクと米系大手投資銀行の合弁証券会社

Job ID
1616334

Division
M&Aアドバイザリー・グループ

Industry
Securities

Job Type
Permanent Full-time

Location
Japan

Salary
10 million yen ~ 18 million yen

Work Hours
8:40 ~ 17:10

Holidays
完全週休2日、

Refreshed
November 4th, 2026 06:00

General Requirements

Minimum Experience Level
Over 3 years

Career Level
Mid Career

Minimum English Level
Business Level

Minimum Japanese Level
Native Level

Minimum Education Level
Bachelor's Degree

Visa Status
Permission to work in Japan required

Job Description

【仕事内容】
国内外を問わず、様々なM&A案件（企業の合併・買収、売却、経営統合、MBO、事業再編、スタートアップ資金調達等）

におけるアドバイザーとして、クライアントの意思決定支援および案件執行実務全般を担って頂きます。
（具体的な業務内容例）
1. 案件ごとのプロジェクトチーム組成および進行管理・運営
2. 全体プロセス（スケジュール、各種調整）のコーディネーション
3. 取引ストラクチャリングの検討・提案
4. 各種専門家（弁護士・会計士等）との調整およびDue Diligence（DD）サポート
5. Valuation（企業価値評価）および財務モデル作成・分析
6. 契約書作成支援・条件交渉サポート
7. ディスクロージャー資料作成サポート
8. 資金調達の検討・実行サポート
【特色】
豊富な経験に基づく高度な専門性と、日系メガバンクと、世界トップクラスの投資銀行の広範なグローバルネットワークを駆使した総合的なアプローチを強みとしています。日本を代表するリーディングカンパニーによる業界再編や大型クロスボーダー案件など、日本の産業構造や企業の成長戦略に大きな影響を与えるM&A案件を数多く手がけています。日本企業関連のリーグテーブルで継続的にトップクラスの実績を有し、案件規模が数千億円に及ぶ大型案件にも携わっています。
また、総合金融グループとして、M&Aの実行に留まらないクライアントのニーズに対して、適切なグループ連携のもと多様なソリューションをワンストップで提供しています（ファイナンス、為替、売却資金の運用、公開買付代理人、M&A後の資本政策等）。
【組織風土・受入体制】
- 風土：プロパー社員、グループ金融機関からの出向者に加え、外資系・日系証券、FAS、事業会社等の出身者を擁しており、これら多様なバックグラウンドを持つM&Aバンカーで構成されています。年次・タイトル、性別・国籍を問わず自由闊達に議論がなされるフラットな職場環境です。
-教育体制：ジュニアバンカー向けに年間を通じた教育プログラムを完備。「先輩が後輩を指導し、チームとして成長していく」育成カルチャー（”育てて勝つ”）が定着しています。
- 柔軟な働き方：フレックスタイム制や在宅勤務（リモートワーク）を積極的に導入。不規則になりがちなM&A業務の中でも、個人が仕事とプライベートを両立できるよう環境を整えています。

Required Skills

【必須】
■論理的思考力、チーム志向(協調性)、知的好奇心、向上心を有する者
■高いオーナーシップを持ち、困難な状況下においても粘り強く案件を推進できる者
■財務・会計知識
■PC基礎スキル（Word/Excel/PowerPoint等）
■M&A関連業務経験（FA執行経験が望ましい）

【尚可】
□ビジネスレベルの英語力（歓迎）
□税務・法務知識

Company Description

人材紹介事業

昨年から本格的に始まった、所謂働き方改革により、日本の労働市場は大きく変わろうとしています。出来るだけ大きな一つの会社に定年退職まで在籍し、その恩恵で豊かな老後を過ごすという常識から、働ける人は働き、また企業は柔軟な働き方を提供することで一億総活躍社会を目指すという、長く続く日本的雇用環境からの大変革となります。雇用環境整備のための企業負担が増える点ばかりクローズアップされますが、大きなチャンスと捉えることもできます。働き方改革の根底にあるのは、世界的に見ても著しい労働生産性の低さの改善です。これらの問題を解決するため、昨今ではAIの活用なども始まってはいますが、日本の少子高齢化を考えると、まずは中高年及び女性の活用、またテレワークや時短勤務の推進が核となります。また、多くの日本企業において海外での生産、販売、マーケティング活動が必要になっているため、今まで以上に諸外国との取引に精通した人材の採用も急務となっております。

弊社では、幹部人材および特殊な技術者の採用に関しては同一業界で30年以上の経験がある企業経営者出身のコンサルタント陣が、経営方針から必要な人材のご紹介まで何でも相談できる相手として、企業様のお手伝いをさせて頂いております。また弊社のコンサルタントの多くは海外法人に責任者として駐在した経験を持つため、今まで以上に海外に目を向けなければならないという企業様には、海外拠点の円滑な運営のために必要なノウハウや、海外進出への準備も含めてお役に立てると自負しております。ここ数年来、企業の採用ニーズは高まり続け、優秀な人材の採用にはもはや一刻の猶予もありません。人材採用・活用方法にお悩みの中小企業の採用責任者様は、ぜひ一度弊社のコンサルタント陣にご相談ください。